

令和3年度事業計画

はじめに

本会は、ここ数年、会員の減少化傾向を受け会員増強に向けた諸活動に組織を挙げて取り組んできました。また、築後90年超が経過した学士会館の整備問題に関して、本会の将来像も見据えたうえで保有資産・保有資源の最有効活用を図るという視点と共に、高い建築史的評価を有する文化財としての学士会館をいかに保存し、いかに後世に残していくかという視点も大切にしながら、理事会の下に専門委員会を設け、本格的な検討を行ってきました。

しかしながら、今般の「コロナ禍」により、本会を取り巻く経営環境・事業環境は大きく変化し、本会はこの「コロナ禍」により大変厳しい状況に陥っています。

経営的には、本会の事業活動を経済的な意味で支えている会館運営事業は前年実績の20%程度まで落ち込み、会館運営を委託している100%子会社の経営を危うくすると共に、本会も会館運営収入の激減により、事業活動収支は大幅な赤字に陥ることになりました。

事業活動においては「3密」回避の流れの中で、本会の代表事業でもある午餐会・夕食会、更には会員各層に向けた各種イベントの多くが中止又は延期を余儀なくされました。

また、新規入会者の獲得に大きな役割を果たしてきました七大学における卒業式（修了式）当日の「入会勧誘活動」も、卒業式の中止・縮小により思うような実施が出来ず、その結果、新入会者数の大幅減に繋がると共に事業活動の縮小による退会者の増加とも相まって会員数の減少傾向に拍車がかかる結果となりました。

令和3年度においても、この新型コロナウイルス感染症終息への道筋は不透明であり、会館運営事業を始めとする本会諸事業の見通しについては、まだまだ厳しさが続く予測せざるを得ませんが、アフターコロナに向け、昨年来その活用と効用が顕著になりましたZoom等に代表されるオンラインツールの積極的活用による新たな事業展開、サービス提供にも取り組み、会員サービスの一層の充実に努めると共に安定的な組織維持に向けて取り組んで参ります。

なお、本年度は「第4期代議員（任期：2022.4～2025.3）」を選出する代議員選挙が実施されます。本会の活性化に向けての有意義な機会と捉え、関係七大学の協力を得ながら会員各位の積極的な参加が得られるよう努めて参ります。

1. 令和3年度重点課題

本年度は上記の状況を踏まえながら、以下の重点課題に対し継続的に取り組んで参ります。

(1) 学士会館の再開発問題に向けた本格的活動の展開・推進

- ・ 共同事業に向けた関係者との実質的な検討と協議の推進
- ・ 財務的観点からの再開発事業の実現可能性の検証と資金調達の目処付け
- ・ 新会館のあり方についての意見集約と具体的検討（規模、用途、機能、収益性等）

(2) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施

- ・ 既存事業の一層の質的充実
- ・ ICTの活用による新しい事業展開、サービス提供の検討・実施
- ・ 「学生会員」（正会員予備層）の意見の吸い上げと具体的施策への展開

(3) 会館事業の収益改善—赤字幅の縮小

- ・(運営子会社を通じ) コロナ禍の状況を見極めながらの柔軟な事業運営の実施—事業規模・提供サービスの見極め、要員の柔軟配置・活用—
- ・収益拡大策の検討と現状の管理仕様・スペックの見直しによる無駄の排除

(4) 会員増強に向けた取り組みと

七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の維持、協働事業の実施

- ・「会員増強実行委員会」からの各種提案に対する実現性の検証と施策への落とし込み
- ・七大学間の情報交換・交流に対する支援の強化、充実化
- ・「全国七大学総合体育大会」の協賛方法についての見直しと効果的支援の実施

2. 事業計画

本年度は上記の重点課題を推進すると共に、以下の諸事業・諸活動に取り組んで参ります。

(1) 会員向け事業及び会員サービスの展開

- 『學士會会報』『NU7』の発行及び内容の充実
- 午餐会・夕食会・関西茶話会・地域講演会・その他イベントの実施
- 「講演会」(午餐会・夕食会等)の録画動画配信、オンライン配信の検討・試行
- 交流サロン『謝恩の情』・メールマガジンによる有益情報の適宜配信
- 『Web名簿閲覧システム』(「会員氏名録」のデジタル化)の公開と機能拡充
- 同好会活動の支援、その他会員による親睦・交流を目的とした自主的活動の支援
- 提携企業・法人による会員向け各種サービスの提供・斡旋

(2) 七大学及び七大学関連団体との連携及び活動支援

- 「七大学同窓会担当事務局連絡会議」の開催、七大学間の情報交換・交流支援
- 各大学所在地における七大学及び同窓団体との共催等による講演会・交流会の実施
- 「全国七大学総合体育大会」協賛、七大学学生・OB団体活動に対する支援や協力
- 七大学支部連絡室(学士会館内)の提供
- 学士会館内で実施される七大学及び全学同窓会等の全学的催しに対する賛助金支給

(3) 会員増強に向けた活動の展開

- 卒業時・修了時における組織的入会勧誘の実施(コロナの収束状況に応じて実施)
- 「紹介キャンペーン」の継続実施
- 七大学の協力による入学時の学生会員登録活動の実施
- 学生会員向けサービスの提供・充実化(会報の無料提供、就職支援セミナー等)

(4) 学士会館の再整備計画の推進及び適切な維持保全

- 再開発に向けた具体的計画案の策定、関係者協議の推進
- 再開発を見据えた適切な施設機能保全の実施
- 防災・防火体制の整備と実践的防災訓練の継続実施